雨水出水浸水想定区域図
〈想定最大規模降雨〉

行政界
全体計画区域
浸水深
0.01m−0.2m
0.2m−0.5m
0.5m−1.0m
1.0m−2.0m
2.0m−10.0m

1．説明文
① この図は、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨が発生した場合に浸水が想定される区域と想定される浸水深を示したものです。
② 想定最大規模降雨は、毎年１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/1000（0.1パーセント）程度の降雨量を上回る降雨です。
③ この図は、令和6年度時点の下水道等整備状況を勘案して、想定最大規模降雨により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションで求めたものです。
④ この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定める雨水出水浸水想定区域は、公共下水道全体計画区域（赤枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。
⑤ このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨や洪水（河川の破堤または越水）による氾濫、市外の浸水状況（浸水の移動等）は考慮していません。この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2．基本事項等
① 作成主体　：常総市
② 指定年月日：令和8年10月16日
③ 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
④ 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間雨量153mm）
⑤ 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法
[降雨損失・表面流出(※)・管内水理・氾濫解析を一連で実施]
※シミュレーション対象区域外においても簡易モデルにより表面流出解析でシミュレーションを実施しており、浸水結果は公共下水道計画区域外の一部も見込んでいます。

⑥ 境界条件：
・ 直轄河川である鬼怒川及び小貝川については、想定最大降雨における洪水シミュレーションによる水位変動を、流出量のピークが重なる様に調整して外水位を設定します。それ以外の河川・水路は、外水位が堤防高（無堤区間は地盤高）を継続するものとします。
⑦ 浸水継続時間：
・ 想定し得る最大規模の降雨により、長時間（概ね24時間以上）にわたり浸水（0.5m以上）するおそれがある場合、水防法施行規則第5条第1項第3号に基づき、浸水継続時間を明記する必要がありますが、シミュレーションの結果、常総市では長時間にわたる浸水が見られないため、浸水継続時間を表示していません。
⑧ その他計算条件等：
・ この図の浸水深は約5mメッシュで表示しています。